

町民が輝き、活力と潤いと魅力あふれる花のまち

広報 わどまり

WADOMARI TOWN PUBLIC RELATIONS



4

Apr.2017
No.351
企画課編集

わどまり



平成29年度 施政方針、町職員人事異動・区長紹介
フォト特集 第36回花の島沖えらぶジョギング大会
連載 西郷さん、まちづくり協力隊からのあぐだより ほか



平成 29 年度

施政方針

はじめに

平成29年第1回和泊町議会定例会の開会にあたり、本町の基本的な施策である「活力ある産業の振興」「教育文化の振興と心豊かな人づくり」「社会福祉等の充実」「交通基盤等生活環境の整備」に取り組み、「町民が輝き、活力と潤いと魅力あふれる花のまち」を実現するため、平成29年度施政方針並びに予算案を提案いたします。

議会をはじめ、町民の皆様の町政に対する御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

国の平成29年度予算案は、「経済・財政再生計画」2年目の予算として、「経済再生と財政健全化の両立」を実現する予算として編成されており、「経済再生」については、①誰もが活躍できる一億総活躍社会を実現し、成長と分配の好循環を強化、②経済再生に直結する取組を推進、③働き方改革を推進、するとし、「財政健全化」については、①一般歳出の伸びに

ついて、社会保障関係費も含めて、「経済・財政計画」の目安に沿って抑制する、②国債発行額を引き続き縮減することを基本的な考え方、として編成されております。

一方、地方財政においては、課題として「一億総活躍社会の実現と地方創生の推進」「地方の一般財源総額の確保と地方財政の健全化等」「地方行政サービス改革の推進と財政マネジメントの強化」を挙げ、人口減少や少子高齢化などの構造的課題に対処するため地方創生を推進すること、また、「経済・財政再生計画」を踏まえ、国の取組と基調を合わせて歳出の重点化・効率化に取り組むこととし、地方交付税等の一般財源総額については、平成28年度地方財政計画の水準を下回らないよう財政措置されており、また、新たに投資的経費として「公共施設等適正管理推進事業費」を創設し、公共施設の長寿命化対策など喫緊の課題への戦略的な投資を後押しすること

としているほか、緊急防災・減災事業費についての事業期間延長や移住促進事業などを後押しする「まち・ひと・しごと創生事業費」も前年度並みの予算が計上されているところであります。

他方、経済の先行きについては、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等に留意する必要があり、併せて、アベノミクスの成果を十分に実感できていない地域の隅々までその効果を波及させ、生まれはじめた好循環を腰折れさせることのないように、施策を実施していく必要があるとしております。

このような動向を踏まえ、本町の平成29年度予算編成にあたっては、第5次総合振興計画や過疎地域自立促進計画の着実な推進と、平成27年度に策定した「わどまり未来予想図プロジェクト」に基づく各種施策を効果的に推進することを重点とした予算配分を行ったところであり、喫緊の課題となっている財政健全化に向けた取組についても引き続き強く行いながら、「町民が輝き、活力と潤いと魅力あふれる花のまち」の実現に努めてまいります。

また、新庁舎建設事業につきま

しては、先般事業候補者が決定し、いよいよ平成29年度から2か年にかけて工事が行われる予定となっておりますが、議会や町民の皆様の御理解や御意見を頂きながら、将来を展望した、その機能を最大限発揮できる施設として取り組んでまいります。

1 活力ある産業の振興

(1) 農業の振興

本町の農業は、生産農家の過去の厳しい時期を乗り越えた努力が実り、サトウキビの3期連続豊作や子牛価格の高騰に後押しされ、総生産額は2年続けての60億円超えが見込まれています。真のグローバル時代を迎えた今日、国内情勢のみならず海外の政治経済に左右される農業経済の到来をひしひしと感じておりますが、今こそ自然災害や国内外情勢に揺るがない、足腰の強い和泊農業を構築しなければなりません。

基幹作物であるサトウキビの安定生産、畜産飼養頭数の確保、花きや野菜等、園芸作物の品質向上の基本施策の実現のために、国が展開している「攻めの農林水産業の実現」に向けた各種事業や「産地パワーアップ事業」「畜産クラ

スター事業」などの有益な事業導入に取り組みます。また、4年目を迎えた奄美群島成長戦略推進交付金事業の輸送コスト支援事業により農家及び生産団体の基盤整備を支援し、農業創出緊急支援事業で平張りやハウス等のハード整備を行い、次期奄美群島振興開発計画の重要継続事業と位置付け、要望を行ってまいります。

直近の2015農業センサスの結果、本町の農業就業者の平均年齢が61・8歳となり高齢化も加速している中で、担い手の確保と農用地の集約・集積に努め、各集落で策定している「人・農地プラン」を充実させ、若者が安心して就農できる環境の整備を継続してまいります。

国営地下ダム事業の通水地域が広がる中で畑かん営農事業を推進し、水かけ農業の啓発による単収向上を行うとともに、新たに始動した農産物加工センターを活用した地域農産物の有効活用を通して「豊かな食生活」と「地産地消」の取組を推進するために、食育推進事業を実施し、農村女性の食育活動の支援を行います。このような施策を行い「温暖な気候を活かした安心・安全な和泊農業の構築」



マチイロ

広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。
ダウンロードはこちらから→



を実現するために邁進してまいります。

(2) 農業農村整備

平成29年度も引き続き、国営沖永良部土地改良事業の進捗に併せて、国営附帯等の県営事業と団体営事業を管理計画に基づき実施してまいります。

国営沖永良部土地改良事業については、地下ダム止水壁工事、左岸排水工事、用水路工事が実施されます。昨年度は、畦布地区の一部通水が実施されており、今後も畑かん営農ビジョンに沿った推進体制を確立してまいります。

県営事業のは場整備については、第二伊美地区において、区画整理が実施され、継続地区の白瀬・第四畦布地区については、地区内整備一式及び換地計画書作成業務を実施する予定です。

畑かん整備については、平成29年度新規採択の朝知野・外俣地区において、測量設計が実施されます。また、平成30年度新規採択に向けた白瀬地区の地元推進体制を進めるとともに継続地区の根折・畦布・手々知名・伊美地区については、引き続き末端工事を実施することから、今後は沖永良部土地改良区及び地元との施設管理体制

が重要となつてまいります。

団体営事業については、昨年度に引き続き農業基盤整備促進事業による国頭地区の農道整備を行い、農業機械の移動と農作物の円滑な流通体系を確立します。

平成29年度から新規採択される農業水利施設保全合理化事業については、黒瀬池・耳付池・水附池・西原伊原池のネットフェンスの改修を行い、施設の安全機能回復及び維持管理の省力化を図ります。

多面的機能支払交付金事業については、農地維持支払交付金対象が21組織、資源向上支払交付金対象が4組織で、農地・水路等の基礎的な保全管理活動や施設の長寿命化に向けた活動を支援してまいります。

(3) 水産業の振興

水産業については、沖縄市場への水産物出荷補助等による効果で島外出荷増が見込まれ、水産加工に向けた施設整備の取組と浜の活力再生プラン3年目の目標に向けての事業の展開を計画しています。

(4) 商工・観光・地域経済活性化

商工業では、商工会が主体となり、地域活性化に向けた独自性のあるイベントの実施に向け取り組んでおり、地域への経済効果が期

待されております。

また、商店街の空き店舗については、町単独事業により、空き店舗の減少が図られている状況にあります。今後も、商工会が主体となり課題解決に向けた取組に対し、関係機関と連携し、充実した支援を講じてまいります。

観光では、一般社団法人おきのえらぶ島観光協会が主体となり、観光窓口の一元化や情報発信、物産販売等を実施しております。平成28年度は、えらぶ世之主没後600年記念事業を実施し、沖縄県とのつながりを再認識することができました。今後は、更に沖縄との交流を加速化させてまいります。

また、平成30年1月から、NHK大河ドラマ「西郷どん」の放映が決定しており、西郷隆盛が育んだ「敬天愛人」の思想や功績を後世に継承するとともに、観光振興と併せて地域資源を活用しながら、このチャンスを超最大限に活かせるよう、取材誘致等に取り組み、和泊町全体を歴史ミュージアムとして各種分野における経済波及効果及び持続可能な地域活性化を目指してまいります。

今後、新たな取組として、島の自然・農業・漁業や地域の魅力

を連携させた着地型体験観光メニューを構築し、観光客の誘客に努めてまいります。

地域経済活性化では、人口減少対策により地方を元気にする「地方創生」の実現に向けて「わどま未来予想図プロジェクト」に基づき、「安定した雇用創出」「交流人口の増加」「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「時代に合った地域づくり」の4分野において各事業を計画しており、今後、大学、金融機関、各種団体や他自治体と連携し、具体的に事業推進が図られるように支援してまいります。

2 教育文化の振興と心豊かな人づくり

本町は、昭和55年に「教育の町宣言」を行い、これまで学校、家庭、地域の連携の下、郷土に根ざした教育を実践してまいりました。近年、少子高齢化、高度情報化社会の進展による教育環境の変化に対応するため、様々な教育改革が行われています。

平成27年4月から施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」により設置された「総合教育会議」等を軸に、教育の政治的中

立性、継続性、安定性を確保しつつ、教育委員会との更なる連携の強化を図り、本町教育の一層の振興に努めてまいります。

また、平成32年度、33年度に順次改訂される小学校学習指導要領、中学校学習指導要領の方針や内容に鑑み、身に付けるべき資質・能力である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性」を総合的、系統的、組織的に育成する教育行政を進めてまいります。

(1) 学校教育の充実

学校教育の充実のために、「確かな学力の定着」「豊かな心を育てる教育の充実」「健やかな体を育てる教育の充実」を重点に取り組んでまいります。

確かな学力の定着については、各種研修会の実施による教職員の指導力向上、特別支援教育支援員や複式学級への学習支援員配置によるきめ細かな指導、電子黒板等ICT機器の活用による分かりやすい授業を推進してまいります。

また、「島内実力テスト」等の実施による児童生徒の目的意識・学習意欲の高揚に引き続き努めます。小学校3年生～6年生で実施予定の英語科導入に向け、教員・



マチイロ

広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。
ダウンロードはこちらから→



A LT合同の研修会の実施や英語科指導における小中連携を積極的に行い、外国語教育の充実を図ります。さらに、月1回の土曜授業を充実させ、学びの場の拡充を図るとともに、地域の特色や人材を活用した体験的学習の充実にも努めてまいります。

豊かな心を育てる教育の充実については、他人を思いやる心や感動する心の育成に努め、本町「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止対策のための組織との連携の強化を進めるとともに、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの派遣による、教育相談体制の拡充にも努めてまいります。

また、本町独自の特色ある教育活動である、お茶の礼儀作法や郷土の先人の教えなどを学ぶ「郷土で育てる肝心」の教育を土台に、道徳の教科化に向けた本町らしい道徳教育を推進します。さらに、土曜授業の時間等を有効に活用しながら、学校、保護者、地域の連携強化を図り、地域社会全体の教育力向上に努めてまいります。

健やかな体を育てる教育の充実については、教科体育、部活動等の充実により、児童生徒の体力向

上に努めるとともに、平成32年度に本県で開催される鹿児島県国体開催を見据えた選手育成と連動した体力・運動能力強化策の推進にも努めてまいります。

また、学校給食の更なる充実を目指し、学校給食センターの効率的な運営に努めるとともに、地場産食材を活用した安心安全で栄養バランスのとれたおいしい学校給食を提供し、食育の推進に努めてまいります。

(2) 家庭教育の充実

町PTA連絡協議会や子ども会育成連絡協議会とも連携しながら、家庭や地域の教育力の向上、基本的な生活習慣の徹底、家庭教育についての学習機会の充実に努めます。特に、県PTA連合会が提唱している「一家庭一家訓」や県教育委員会が提唱している「家庭学習60・90運動」を引き続き推進し、児童生徒の健全育成や家庭学習の習慣化を図ります。

(3) 社会教育の充実

社会教育の充実のために、「生涯学習の推進」「芸術・文化活動の推進」「生涯スポーツの推進」「青年団活動の活性化」を重点的に行ってまいります。

生涯学習の推進については、子

どもから高齢者まで幅広い学習者の要請に対応できるように、公民館や図書館、研修センター、歴史民俗資料館、西郷南洲記念館などの社会教育施設において、地域における学習の拠点、人づくり・まちづくりの拠点として機能するよう、内容の充実や環境を整備し、誰もが気軽に利用し、自由に学べる場づくりに努めてまいります。

特に、NHK大河ドラマ「西郷どん」の放映に関連して、西郷南洲翁とのつながりが深い本町においても、西郷南洲顕彰会とも連携し、西郷南洲記念館をはじめ関係遺産等を活用して、西郷と沖永良部島との関わりなどの歴史・文化を島内外にPRし、教育の振興とともに、観光交流事業の推進につなげていきたいと考えます。

生涯スポーツの推進については、町民の誰もが生涯にわたりいつでも気軽にスポーツに親しむことができるよう、「元氣一わどまリクラブ」の充実を図るとともに、各競技連盟を支援し、競技力の向上にも努めてまいります。

また、平成32年度開催の鹿児島国体に向けてデモンストレーションスポーツの実施を検討し、スポーツに関する意識の高揚に努め

てまいります。

青年団活動の活性化としては、これからの本町を担う若者が、生活に楽しみと充実感を持てるよう、「スポーツ交流」や「カラオケ大会」を通して町内の青年同士が「楽しく交流できる場」の提供や、群島内の青年団との交流・連携を積極的に支援してまいります。

昨年は、伝説上「えらぶ世之主」が没して600年目に当たることから、各種記念事業等を開催し、島の歴史や沖縄地域とのつながりに対する、町民意識の高揚に努めました。

平成29年度も引き続き、「えらぶ世之主」関連遺産群等の調査・保存・活用を図るとともに、子ども会育成連絡協議会が実施する「えらぶ世之主伝説」わらんちゃヤンバル体験交流プロジェクト事業や体育協会によるやんばる駅伝への参加等、沖縄地域との交流事業を推進してまいります。

3 社会福祉等の充実

(1) 健康の増進

町民の健康増進については、高齢者への肺炎球菌ワクチン接種等の費用助成や、疾病の早期発見・早期治療対策として、特定健康診

査や各種がん検診及び歯周疾患検査への助成を行い、町民が健康で安心して生活できる環境づくりを引き続き推進してまいります。また、平成30年度から平成34年度を計画期間とする、和泊町第3次健康増進計画（健康わどまり21）策定に向けた作業を実施してまいります。

母子保健対策については、産科医等を安定的に確保するために、産科医療確保支援事業を継続して実施するほか、不妊治療等の支援や、妊婦健康診査及び乳幼児健康診査等の受診率向上を図るなど、子どもの健やかな成長に向けた総合的な支援に努めてまいります。

国民健康保険事業については、特定健康診査の受診率及び特定保健指導の実施率の向上に努めるとともに、被保険者の健康増進や生活習慣病等の重症化予防等の保健事業を推進してまいります。また、平成30年度からの国民健康保険事業の広域化に向け、円滑な移行ができるよう作業を進めてまいります。

後期高齢者医療については、被保険者の健康増進対策として、長寿・健康増進事業の充実や、鹿児島県後期高齢者医療広域連合と連携して、被保険者が安心して必要



マチイロ

広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。
ダウンロードはこちらから→



な医療を受けられるよう適切な運営に努めてまいります。

(2) 福祉の増進

生活保護に至る前の段階から早期自立を支援するため、新たに生活困窮者自立支援制度により、生活困窮者に対する包括的な相談支援機能の充実を図ってまいります。

高齢者福祉については、長寿クラブやシルバー人材センター等への活動支援をはじめ、生活支援サービスや緊急通報システムの助成など、高齢者の生きがいと健康づくり、安心して生活できる環境づくりを推進してまいります。

障害者福祉については、障がいのある人の就業機会の確保や収入の増加につながる就労支援対策の推進、障がいのある児童・生徒に対する相談支援や保護者の相談援助の充実など、障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりに努めてまいります。

また、平成30年度から平成32年度を計画期間とする、和泊町障害者計画及び第5期障害福祉計画の策定に向けた作業を実施してまいります。

介護保険事業については、重度必要介護状態となっても住み慣れた

地域で暮らしていけるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステム構築の実現を目指して、必要なサービスが提供できる環境づくりに努めてまいります。

また、平成29年度から導入する介護予防・日常生活支援総合事業により、地域の特性に応じた介護予防や生活支援の充実に努めるほか、平成30年度から平成32年度を計画期間とする、和泊町高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画の策定に向けた作業を実施してまいります。

(3) 児童福祉の充実

子どもは「地域の宝」という認識の下、子ども・保護者に必要な支援を行い「社会全体で子育てをする」社会づくりに努めてまいります。

子育て世代の経済的負担の軽減を図ることを目的として、子ども医療費助成事業、ひとり親家庭医療費助成事業及び多子世帯保育料等軽減事業等を実施しております。また、認定こども園・保育園における子どもの一時預かり、延長保育、3歳児の午前保育及び医療機関における病児・病後児保育の支援を行う等、保護者が子育て

と仕事の両立ができるよう支援してまいります。

その他、和泊町子ども・子育て支援事業計画を基に、教育・保育・子育て支援の充実を図るための給付や事業を計画的に推進してまいります。

また、子育て中の保護者の不安軽減を図るための育児相談やファミリーサポートセンター事業の充実、児童虐待の早期発見、早期対応及び再発防止のための取組を推進してまいります。

4 交通基盤等生活環境の整備

(1) 交通基盤の整備

交通基盤整備は、「安全で便利に富んだ道路整備」を目標に、各種交付金事業や起債事業を活用し、通学路への歩道設置や狭あい道路の改良工事、橋梁長寿命化修繕計画に沿った橋梁の改築修繕を推進してまいります。また、町道、伊延港、内喜名漁港等の維持管理に取り組み、安心・安全な利用ができるよう努めてまいります。

(2) 水道事業

水道事業は、企業会計の更なる経営の健全化を図り、施設の維持管理と老朽管更新事業に取り組みとともに、水質管理を徹底して「安

全でおいしい水」の安定供給に努めてまいります。

(3) 下水道事業

下水道事業は、「公共用水域の水質保全と快適な生活環境の確保」のため、平成27年度から機能強化対策事業により農業集落排水施設の更新を実施しており、平成29年度から中部処理場の公共下水道施設への統廃合及び和泊浄化センターの耐震化を行い、適正な維持管理や機能強化によりライフサイクルコストの低減を目的として推進してまいります。また、生活排水による水質汚濁を防止するため、引き続き合併処理浄化槽整備事業を継続して推進するとともに、更なる接続推進を進めてまいります。

(4) 住宅整備事業
住宅政策は、「ゆとり・やさしさ・うるおいのある住宅づくり」を目標に住環境の整備を進めているところであり、平成29年度から、内城B団地の建替事業を進めてまいります。

また、地域の活性化や住宅不足を解消するため、空き家活用住宅の整備や危険廃屋解体撤去を推進するとともに、和泊町公営住宅長寿命化計画に基づき、公営住宅

ストック総合改善事業や住宅リフォーム支援事業により、建物の長寿命化を図るとともに、住民の安全の確保と住環境の整備に取り組んでまいります。

(5) 生活環境衛生

快適でより良い住環境保持のためには、廃棄物の減量化や適正処理はもとより、環境に対する町民の意識の高揚が不可欠であります。

引き続き徹底したゴミの分別収集と、発生抑制、再利用、再資源化の3R (Reduce、Reuse、Recycle) 活動を推進し、ゴミの減量化を図るとともに、環境整備と併せて不法投棄防止等の啓発活動を行い、公衆道徳の向上に努めてまいります。また、近年多くなっているペット（飼育動物）については、適正飼養の推進と終生飼養の徹底について普及、啓発に努めてまいります。

(6) 環境にやさしい循環型エコのまちづくり

魅力ある沖永良部島再生を目的に、「緑の再生、花の植栽、生活環境の保全対策」などを推進しているところです。平成29年度も引き続き、循環型エコのまちづくりを具体化する方策として、両町連携し、先進地調査等を実施する予



定にしており、今後、奄美群島世界自然遺産登録に向けた取組と併せて町民の理解と協力を得ながら取り組んでまいります。また、平成28年度に策定された地球温暖化防止実行計画に基づき、温暖化対策についても推進してまいります。

(7) 安心・安全なまちづくり

町民の安心・安全な生活が確保される地域社会づくりのため、関係機関と協力しながら、近年、多様化する様々な犯罪や交通事故、交通違反等の未然防止に努めてまいります。

また、災害が発生した場合の避難所施設において安心・安全に避難又は生活していただくため、避難所施設の充実を図っていくほか、自主防災組織と消防団員が密に連携を深め、「自助・共助」を目的とした自主的な防災訓練等の実施について、活動が充実できるよう「公助」により支援し、住民の減災防災に対するさらなる意識の向上に努めてまいります。

(8) 共生・協働のまちづくり

集落やNPO等各種団体が「自助・共助・公助」の精神で実施する諸施策については、特に集落を中心とした話合い、活動が盛んに行われてきました。このようなことから平成29年度も、あざ・まち元氣活動を実施している集落を中心に「あざ・まち元氣活動事業」を通じて、活動支援を予定しております。

(9) 情報化の推進

サンサンテレビの番組充実、雇用促進及び行財政改革の一環として、番組制作・放送部門等を民間に業務委託して3年が経過し、番組制作も安定してきたことから、今後を視野に入れた島外への情報発信、インターネットの活用を考えております。

また、様々な分野でのICTの活用や政策を計画し、情報基盤・情報設備・情報機器を活用して地域の課題解決に向けて、情報化を推進してまいります。さらに、毎年襲来する大型台風の被害に対しては、強風用ドロップの試作など強固な設備や復旧作業のマニュアル化を図り、迅速な復旧体制の確立を図ってまいります。

5 財政事情及び各会計予算

(1) 財政事情

近年の本町の財政事情については、国の施策に伴う新たな行政需要等に対応した事業導入に伴い多額の町債を発行した結果、平成27年度末における地方債残高が約108億円となっております。国の施策や地方財政計画を考慮しつつ、目前に迫った新庁舎建設事業を始め、「和泊町版総合戦略（わどまり未来予想図プロジェクト）」及び「第5次和泊町総合振興計画後期計画」に掲げる施策や計画に基づく各種事業を推進するため、普通旅費等を中心とした歳出全般にわたる徹底した見直しによる経常経費の削減に努めた結果、昨年度と比較すると財源不足額が減少したものの、平成29年度当初予算についても財政調整基金等からの繰入れを伴う予算編成となっております。

今後とも、社会資本等の整備や住民サービスの維持を計画的に進めるため、機能的かつ簡素で効率的な行政運営に向けた取組を引き続き推進し、持続可能な行財政運営を行う必要があります。

(2) 一般会計予算

平成29年度一般会計予算の総額は、対前年度比3億8160万9千円（△6.4%）減額の55億7798万7千円となりました。

義務的経費については、人件費1194万3千円、扶助費1397万5千円、公債費722万8千円の減額により対前年度比3314万6千円（△1.2%）減額の27億5257万5千円となりました。

(2) 特別会計等予算

特別会計予算については、一般会計予算の編成方針に準じて、事業の見直しや、真に必要な住民サービスの提供を基本に編成しました。平成29年度の特例会計及び企業会計のそれぞれの予算額は、次のとおりです。

国民健康保険特別会計予算

12億9419万2千円

介護保険特別会計予算

9億4071万9千円

後期高齢者医療特別会計予算

8233万6千円

下水道事業特別会計予算

2億4688万1千円

農業集落排水事業特別会計予算

3億1291万2千円

奨学資金特別会計予算

858万4千円

水道事業会計予算（収益的事業）

1億9017万7千円
計 30億7580万1千円

特別会計及び企業会計予算の総額は、対前年度1億3737万5千円（4.7%）の増額予算となりました。

これにより、一般会計及び特別会計等の予算の総額は、86億5378万8千円となり、対前年度比2億4423万4千円（△2.7%）の減額となりました。



マチイロ

広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。
ダウンロードはこちらから→





平成 29 年度町職員人事異動・区長紹介

総務課 84-3511

級	氏 名	新 職 名	旧 職 名	級	氏 名	新 職 名	旧 職 名
課長級	○ 東 敏仁	農業委員会事務局長	経済課長補佐	2 級 主査級	朝戸 博	税務課主査	経済課主査
	亙 慎一郎	耕地課長	農業委員会事務局長		森 英仁	企画課主査	奄美群島 広域事務組合派遣
課長 補佐級	○ 長田留美子	大城こども園 主任保育士	国頭こども園保育士	主事級	梶原景之	町民支援課主事	企画課主事
	○ 伊東智子	保健福祉課長補佐兼 保健センター所長	保健福祉課係長兼 保健センター所長		西 佑美	大城こども園保育士	国頭こども園保育士
	芋高洋一	議会事務局次長	保健福祉課長補佐		三島いずみ	教育委員会事務局 主事	町民支援課主事
	中原初美	内城こども園園長	国頭こども園 主任保育士		衛守 歩	町民支援課主事	教育委員会事務局 主事
	福永君子	国頭こども園 主任保育士	大城こども園 主任保育士		竹下久哉	企画課主事	総務課主事
	山元博文	教育委員会事務局 次長	耕地課長補佐	派遣 (研修)	前田啓至	鹿児島県町村会 市町村情報処理 センター	企画課主事
				新規採用	二宮慎悟	耕地課主事	
係長級	○ 瀬川文慎	耕地課係長	耕地課主査		池田 亮	総務課主事	
	○ 中田隆昭	経済課係長	土木課主査		泉 亮輔	土木課主事	
	○ 朝戸浩一	保健福祉課係長	保健福祉課主査		福島 亮	大城こども園保育士	
	○ 大柴勝吾	総務課係長	総務課主査		外山瑞希	内城こども園保育士	
	永山真奈美	国頭こども園保育士	大城こども園保育士	退職	山岡和博		耕地課長
	大吉智美	大城こども園保育士	内城こども園保育士		白山 智		耕地課参事
	市来武也	土木課係長	生活環境課係長		大江民子		内城こども園園長
	大江吉郎	経済課係長	税務課係長		伊地知裕仁		教育委員会事務局 主査
3 級 主査級	○ 沖田浩幸	保健福祉課主査	保健福祉課主査		藤山恵利香		大城こども園主査
	○ 竹下富廣	経済課主査	経済課主査	転入	猿渡司郎	教育委員会指導主事	鹿屋市立 寿小学校 (教頭)
	東 梢	保健福祉課主査	総務課主査				
	田仲 香	国頭こども園保育士	大城こども園保育士	転出	黒江真一郎	南九州市立 霜出小学校 (校長)	教育委員会指導主事
	弘野美咲	総務課主査	町民支援課主査				
	花輪富八郎	教育委員会事務局 主査	議会事務局主査				
2 級 主査級	○ 太 剛志	税務課主査	税務課主事				
	○ 島田裕治	保健福祉課主査	保健福祉課主事				
	○ 菅村文雄	総務課主査 (沖縄県庁研修)	総務課主事 (沖縄県庁研修)				

○は昇格

区長紹介

●は新
敬称略

字 名	区長氏名
和 泊	森 富 隆
和	沖 田 久
手々知名	野 山 孝 仁
上手々知名	伊 集 院 周 克
喜 美 留	先 山 安 孝
● 出 花	上 山 富 秀
● 伊 延	赤 理 保 大

字 名	区長氏名
畦 布	三 島 好 美
国 頭	田 代 吉 信
● 西 原	林 一 孝
根 折	大 山 政 照
玉 城	安 田 克 彦
大 城	野 山 信 興
● 皆 川	中 原 克 美

字 名	区長氏名
古 里	林 義 平
内 城	寺 原 龍 雄
● 瀬 名	中 村 良 生
● 永 嶺	川 平 健 勇
仁 志	太 直 孝
谷 山	島 田 米 明
後 蘭	前 田 重 治



平成 29 年度町教職員人事異動

教育委員会事務局 92-0009

本町に新しく
赴任された先生方

和泊小学校		
職 名	氏 名	
校 長	池 田 隆	
教 諭	柏 原 真 一	
〃	上 村 洋 美	
〃	今 村 奈 々	
〃	先 田 菜 穂 子	

大城小学校		
職 名	氏 名	
教 頭	山 村 光	
教 諭	池 平 昌 代	
〃	前 衣 津 美	
事務職員	濱 島 優 子	

内城小学校		
職 名	氏 名	
教 諭	藤 井 康 博	
〃	吉 村 奈 穂	
〃	中 村 祥 子	
支援員	石 原 茂 仁	

国頭小学校		
職 名	氏 名	
教 諭	山 田 和 子	
〃	渡 邊 泰 子	
養護教諭	杉 田 ま ゆ み	
支援員	堀 部 玲 子	

城ヶ丘中学校		
職 名	氏 名	
教 諭	松 田 洋 平	
〃	川 路 凌	
講師	宮 永 珠 美	

和泊中学校		
職 名	氏 名	
教 頭	前 泊 勝 利	
教 諭	南 睦 美	
〃	坪 山 史 寛	
〃	永 吉 香 織	
〃	本 田 開	
〃	諸 井 大 樹	



第36回 おきの 花の島 沖えらぶジョギング大会

3月12日（日）、笠石海浜公園を発着点に第36回花の島
沖えらぶジョギング大会が開催されました。

前日までの雨天を吹き飛ばし、2,182名のランナーは春の
日差しのもと完走を目指しました。



マチイロ

広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。
ダウンロードはこちらから→



ウェルカムパーティー



第37回フラワーフェスティバル

3月12日（日）、ジョギング大会終了後、和泊中学校体育館において第37回フラワーフェスティバルが盛大に開催されました。

今回で観光大使の任期を終了した島田かすみさん、森麻衣子さんから新観光大使の増本葉月さん、原田みゆきさん（都合により当日欠席）へバトンが引き継がれました。

このほかに、各団体の演芸披露やエラブチ剛さん、城南海さんのライブが行われました。



これからの抱負を語る新観光大使
増本葉月さん





和泊町長選挙について

選挙管理委員会 84-3523

投票日は 6/25 (日) です

- ・ 告 示 日 平成 29 年 6 月 20 日 (火)
- ・ 期日前投票 平成 29 年 6 月 21 日 (水) ~ 平成 29 年 6 月 24 日 (土)
時間：午前 8 時 30 分 ~ 午後 8 時
- ・ 投 票 日 平成 29 年 6 月 25 日 (日)
時間：午前 7 時 ~ 午後 6 時
場所：町内 4 投票所

※期日前投票所、選挙当日の第 1 投票所及び開票所の場所は、和泊町防災拠点施設やすらぎ館ですのでご注意ください。



平成 29 年度「派遣登記所」の開設について

総務課 84-3511

法務局では、土地や建物の相続、売買、贈与などの登記申請や、登記事項証明書などの交付請求をお受けするために、「派遣登記官（派遣登記所）」を開設しています。

登記に関する御相談もお受けしていますので、相談を希望される際は、奄美支局まで事前に予約をお願いします。

開 設 日：6 月 8 日 (木), 8 月 10 日 (木), 10 月 12 日 (木), 12 月 14 日 (木),
2 月 8 日 (木)

開設時間：9 : 00 ~ 12 : 00

取扱事務：・ 不動産に関する登記申請書の受付
・ 登記事項証明書、会社の印鑑証明書等の交付請求書の受付
・ 登記に関する相談

※飛行機の時間、天候等により変更・中止となることもあります。

予約・お問い合わせ先：鹿児島地方法務局奄美支局 TEL：0997-52-0376

陽子線による

がん治療について

本県における死亡原因の第 1 位は、全国同様「がん」であり、がん対策が喫緊の課題となっております。県では、平成 25 年 3 月に策定した「鹿児島県がん対策推進計画」に基づき、がん予防の普及啓発、早期発見体制の充実や、がん診療連携拠点病院の整備など、総合的ながん対策を推進しているところです。

から借り受けた患者やその家族等に対して利子の一部を助成する制度があります。

詳しくは県のホームページをご覧ください。

▽問い合わせ先
県庁地域医療整備課
電話：099(288)2666

九州電力から

感電事故防止のお願い

鯉のぼりの季節になりましたが、感電事故防止のため、電線付近での鯉のぼりの掲揚や魚釣りは絶対に行わないよう、お願いします。

なお、万一、鯉のぼりや、釣り糸が電線にかかった場合は、自分で取ろうとせず、近くの九州電力までご連絡いただきますようお願いいたします。

九州電力株式会社

県においては、県民が陽子線治療を受けやすい環境を整備するため、治療費を金融機関



マチイロ

広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。
ダウンロードはこちらから→





春の交通安全運動出発式



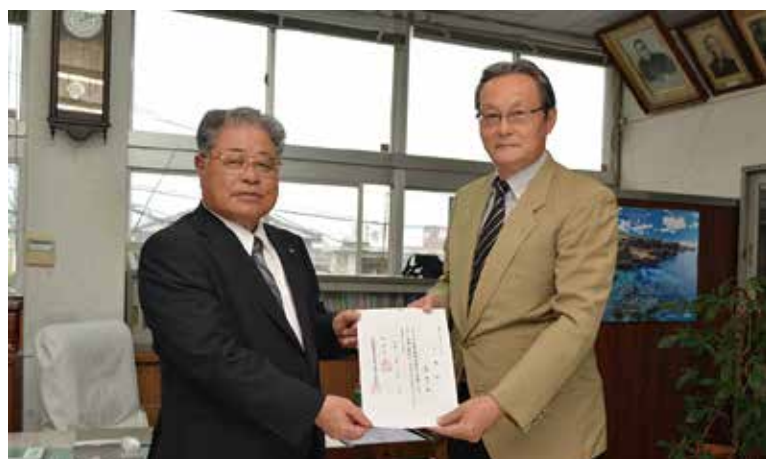
4月6日（木）、役場庁庭において「春の交通安全運動」の出発式が行われました。

各団体の代表者や先日、内城小学校に入学したばかりの新1年生9名が参加し交通安全宣言を元気よく宣言してくれました。その後、商店街をパレードし、県道沿いでPR活動を行いました。今回の運動のスローガンは「横断はしっかりよく見てたしかめて」です。

事故等に遭わないために日頃から十分に注意しましょう！



自衛官募集相談員委嘱式



4月10日（月）町長室において、自衛官募集相談員の委嘱状伝達式が行われました。

手々知名字の安徳健二さんへ伊地知町長から委嘱状が手渡されました。安徳さんは、2年間相談員を務めます。

募集相談員って？

「自衛官募集相談員」とは、自衛隊志願者に関する情報の提供、自衛隊地方協力本部の行う募集のためのいろいろな広報に対する援助を個人の好意に基づいて実施していただいている方々です。

また、防衛意識の普及等、防衛基盤の育成にも貢献する極めて重要な役割を担っています。



知って得する！「沖永良部島と西郷さん」

(3) 獄中での西郷さんの生活が始まる

もの静かに一日中座禅を組んで思索にふけっている西郷の姿に、強く心打たれた横目（現在の警察官）土持政照は、西郷を救う手立てを考え続けていた。

命令書には「囲いに入れろ」とあるが、この囲いは吹き曝しではなく家の中の牢でも良いではないかと思いつき、代官に掛け合い許可を取り付け、与人役所内に造った。

その間、薩摩藩代官役所附役福山清蔵預かり名目で、土持家（現在の東ホテル敷地）で母ツルの手厚い介抱を受け、生きる気力と体力を取り戻した。土持家での20日間は政照が、牢を作る大工たちに1日の仕事を2日も3日もかけてゆつくり作るようにとの計らいであり、体力回復に十分な時間であった。

「座敷牢」に移った西郷は、終日読書に没頭した。さらに付近の青少年たちに学問を教えるようになった。西郷の教えを受けた青少年たちは、成長すると沖永良部島の指導者となっていった。

西郷は島民の生活がたいへん貧しく、台風や日照りによつて食料が不足し、飢えてしまうことを悲しみ、その対策についても政照に教えている。

豊作の年に各人から余分な米を出資してもらって蓄えておき、飢饉の年に貸し付けて、その利米（利子にあたる米）を増やすこと。その利米で、困っている人民を救うことができること。このような方法を社倉（中国では早くから行われている）といい、政照は明治三年にこの社倉を実行している。

社倉について

瀬戸内町出身のロシア文学者、昇曙夢は、沖永良部島で明治3年から明治32年まで続いた「社倉」について、「南東の歴史だけでなく、日本経済の歴史にとっても特筆されるべきものである」と高く評価している。

この社倉は西郷隆盛が沖永良部島に流されたとき、土持政照に教えたものであり、沖永良部島の近代化に大きく貢献した共済制度であった。

明治3年、政照は山口真粹憲や沖利有とともに、在番所（もとの代官所）の許可を得て、西郷が教えた社倉を設立した。その目的は、風水害や旱害によつて食料が不足したときに、困窮している島民を救うことであった。

ここに、沖永良部島島民が全員加入して、互いに助け合う共済制度が、初めて組織されたのである。

当時、奄美の島々は黒糖の独占売買を行っていた。薩摩藩の保護社の高い利子に苦しんでいた。沖永良部島においても、砂糖一四六万斤の負債があった。明治6年（一八七三年）土持政照や各島々の代表者は、この負債を新政府に救済してもらうために上京した。政照らは、西郷や県令（現在の県知事）に面会して、島民の苦しみを訴え、保護会社に対する負債を取り消してもらった。沖永良部島では一四六万斤の負債がなくなるかわりに、その中の20%にあたる二九万斤の砂糖を、社倉の資金として供出してもらった。

こうして、貯えられた米や黒砂糖が売りさばかれて、困ったときの資金として島民が活用できたのである。米を貯える社倉の倉庫は玉城・上平川・芦清良・谷山・下城の米生産地に建てられた。

明治維新により、日本全体の近代化が進む中で、沖永良部島の人々はこの社倉制度を通して、新しい時代に対応することができた。これこそが、西郷隆盛が沖永良部島に与えた偉大なる恩恵であった。

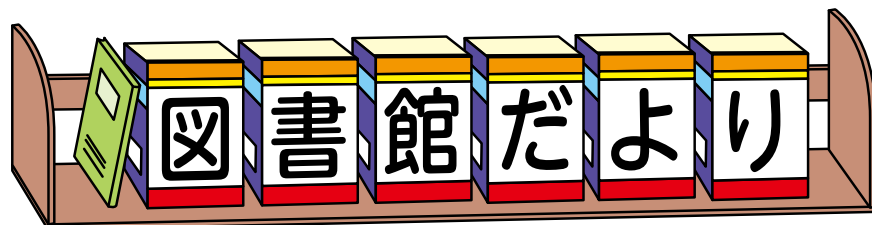
参考文献…沖永良部島と西郷隆盛



マチイロ

広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。
ダウンロードはこちらから→





和泊町立図書館
TEL: 92-3033
FAX: 92-0773



○開館時間は10時～18時30分まで
○休館日は月曜日と祝日、そして整理休館日
(毎月最終週の木曜日に実施)です。
ご理解とご協力をお願いいたします。

〈新着本紹介〉

一般書	
書名	著者
メビウス 1974	堂場 瞬一
ヒポクラテスの憂鬱	中山 七里
人間性剥奪	両角 長彦
慈雨	柚木 裕子
夏井いつきの超カンタン！ 俳句塾	夏井 いつき
ごちそうワンプレート	堤 人美

〈寄贈本〉

氏名	書名
本城 美桜 (和泊)	はらぺこあおむし 他 92 冊
森 香織 (畦布)	皆川字のあゆみ 他 6 冊
東 則仁 (和泊)	「めんどくさい」がなくなる本 他 39 冊
佐藤 郁香 (屋子母)	プラージュ 他 2 冊
前田 由莉子 (後蘭)	「超記憶力！」 他 9 冊

じどうしょ	
ほんのなまえ	かいたひと
おならしりとり	tupratupera
かぶと四十郎 お屋の決闘の巻	宮西 達也
ハルとカナ	ひこ・田中
ふしぎ駄菓子屋銭天堂 6	廣嶋 玲子
森のおばけ	中川 季枝子
ぼくはいったいなんやねん	岡田 よしたか

※この他にもたくさん入荷しますのでぜひ図書館にご来館ください。

おすすめ！



本邦初、落語のノベライズです。屈指の人情噺として知られる「芝浜」ほか、「井戸の茶碗」、「百年目」、「抜け雀」、「中村仲蔵」など人情世界を温かく描いて、落語ファンからも人気の演目です。

聴いてから読むか、読んでから聴くか。

直木賞作家が挑んだ「人情噺」の世界。

元気！わどまりクラブ通信

昨年に引き続き「元気！わどまりクラブ」の紹介や活動報告をさせていただきます。

今回は、平成 29 年度会員募集についてです。申し込みには、申込書と会費が必要で、申し込みは元気！わどまりクラブ事務局（教育委員会事務局内）またはタラソ内トレーニングジムにて随時受け付けています。また、トレーニングジムを利用される場合は別途利用料が必要になります。元気！わどまりクラブでは、幼児の運動教室を始め、ジム、ミニバレー、バドミントン、ダンス、サッカー、太極拳、自力整体と様々な教室やサークルがあります。興味のある方は是非、事務局までお問い合わせ下さい。なお、元気！わどまりクラブでは、会員のスポーツ保険への加入を推奨しています。安心してスポーツができるように入会をお願い致します。

<年会費>		和泊町内 在住者	和泊町外 在住者
個人会員	0 歳～高校生 65 歳以上及び障がい者	3,000 円	5,000 円
	一般（上記以外）	5,000 円	8,000 円
家族会員	ファミリー会員 (同一世帯に限る)	10,000 円	15,000 円



元気！わどまりクラブ TEL: 92-0300 (教育委員会事務局内)
FACEBOOKページ <https://www.facebook.com/genkiwadomari>



まちづくり協力隊からのあぐだより

Vol. 15 奄美群島各市町村の協力隊員が集る意見交換会に参加しました！

1/31(火)～2/1(水)に奄美市、名瀬で行われました「大島支庁管内の地域おこし協力隊意見交換会」に参加させていただきました。

奄美群島内で活動している地域おこし協力隊が一同に集るのは、今回が初めてで17名の協力隊の方々が参加しました。和泊町の私は、地域おこし協力隊の制度で採用されているわけではありませんが、同じ地域活性化活動をしている協力隊として参加させていただきました。

最初に、NPO 法人 TAMASU 理事長の中村さんから事例発表があり、大和村国直集落の「国直集落まるごと体験交流」についてお話を伺いました。大和村国直集落は人口約120名の小さな集落ですが、集落のありのままの景観や人、文化を生かした着地型の体験メニューを作り、お客さまを迎える取組みを行っています。人口減少、高齢化が進む集落ですが、話し合いをしながら活動していくことで、少しでも集落の景観を守り、訪れる方々との交流で集落の活性化や収入確保にもつなげているそうです。

その後、各隊員から活動発表があり、私も「あざ・まち元気活動」や「あしきぶふえすた」などを中心に和泊町の集落のみなさんの取り組み、協力隊としての活動を発表しました。お互いの活動を知ることとはとても勉強になります。

奄美群島内のネットワークも作りながら今後も、できることから1歩ずつ活動していければと思います。

和泊町まちづくり協力隊 吉成



← 国直集落のフクギ並木

和泊町役場企画課 和泊町まちづくり協力隊
TEL: 84-3512
まちづくり協力隊活動報告ブログ
<http://www.wadomari.com/>

JCG 奄美海上保安部からのお知らせ

各地で海開きも行われ、奄美群島ではこれから本格的なマリンスピーシーズ到来です。次の事項に注意して、安全にマリンスピーシーズを楽しみましょう！

小型船舶の海難を防止するために！

- 出航前の点検・確認を励行
・バッテリー、燃料など
- 見張りの徹底
- 自己救命策の確保
・ライフジャケットの常時着用
・携帯電話の携帯
・海の緊急電話は118番

水難事故を防止するために！

- 危険な場所には近づかない！
- 風が強いとき、波が高いときは海に入らない！
- 浮く物を身に付けて！
・特にシュノーケリングや小さなお子さん
- 飲酒したら泳がない！

地元の海のことを知っているのは地域の皆さんです。観光客の皆さんにも、地域の皆さんが海の安全に関する情報を提供するようにしてください。

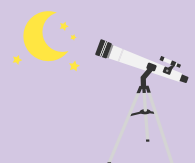
お問い合わせ先：奄美海上保安部 0997-52-5811

平成29年度天体観望会 実施予定日

第1回	5月25日(木)・26(金)	19:30～
第2回	7月6日(木)・7(金)	20:00～
第3回	9月14日(木)・15(金)	19:30～
第4回	11月9日(木)・10(金)	19:00～
第5回	平成30年 1月18日(木)・19(金)	19:00～
第6回	3月8日(木)・9(金)	19:30～

5月の天体観望会

- ①春の星座をさがそう
- ②土星を見よう
- ③火星を見よう



対 象：どなたでも
場 所：和泊小学校
お問合せ：和泊小学校 92-0004

消費者生活相談所

消費者生活に関するご意見・ご相談は
鹿児島県大島消費生活相談所まで、
お気軽にお問い合わせください。
消費生活調査員が常駐しております。

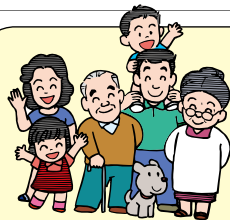
TEL: 0997-52-0999



マチイロ

広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。
ダウンロードはこちらから→





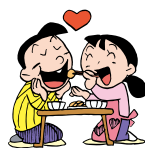
戸籍の窓

2月1日～3月31日までの届けのうち、掲載依頼のあった届けのみを掲載しております。(敬称略)

町の人口
4月1日現在
()は前月比

総人口 6,542 人 (－ 189)
男 3,242 人 (－ 86)
女 3,300 人 (－ 103)
世帯数 3,209 戸 (－ 65)

よいご家庭を お築ください



氏 名	住 所
永野 大吉	永 嶺
北原 優里菜	西 原

あかるくすこやかに



子 の 名	性 別	保 護 者	住 所
ふくやま あたる 福山 陽琉	男	智 リナ	喜美留
やまだ まお 山田 茉央	女	朗人 貴子	和泊
しんや れみ 新屋 玲美	女	拓磨 文香	玉城
にし かいせい 西 快成	男	辰徳 智美	畦布
おきた てるま 沖田 瑛真	男	新作 栄利加	和泊

奨学金寄附

寄 付 者	住 所	金 額
町田 康子	手々知名	1 0 万 円

一般寄附

寄 付 者	住 所	金 額
町田 康子	手々知名	5 万 円

日赤鹿児島県支部へ寄附金として

空き家活用に関する
ご相談は
和泊町役場企画課
☎0997-84-3512 へ

おくやみ

生前のご貢献に感謝を捧げるとともに、ご冥福をお祈りします。

月 日	故 人	歳	住 所
1/3	菅村 莊吾	87	和 泊
1/26	通村 幸甫	84	国 頭
1/31	大江 久美	92	谷 山
2/2	大山 ツル	89	手々知名
2/4	芋高 國弘	73	手々知名
2/17	芋高 義忠	81	出 花
3/3	福島 基恵	69	国 頭
3/3	重村 りう	87	和 泊
3/10	福 定吉	73	国 頭
3/12	吉田 悦郎	66	手々知名
3/13	林 義二三	82	和
3/18	西村 カネ	100	国 頭
3/25	山下 義常	84	根 折
3/25	井出 俊任	75	喜 美 留

香典返し

寄 付 者	故 人	続柄	住 所
西 安弘	茂	弟	出 花
皆吉 泰智	龍馬	父	皆 川
花田 博教	ヨシ	母	玉 城
迫田 初枝	紀男	夫	和 泊
芋高 トヨ子	義忠	夫	出 花
菅村 シヅエ	莊吾	夫	和 泊
大野 美恵	修	夫	和
藤井 勝代	岡元ツル	母	福 岡 市
森 富隆	富茂	父	和 泊
中田 明子	隆仁	夫	和 泊
田中 三千子	裕之	子	手々知名
柳川 英子	高山清道	兄	喜 美 留
井出 司	ユキ	母	呉 市
泉 幸乃	重村りう	母	出 花
福 恵美子	定吉	夫	国 頭
大江 茂樹	久美	父	和 泊
西口 和子	井出俊任	弟	喜 美 留
吉田 昭恵	悦郎	夫	手々知名





和泊小学校



大城小学校

祝入学
おめでとう!!



国頭小学校



内城小学校



城ヶ丘中学校



和泊中学校



和泊中学校